

串間市立秋山小学校

学校便り

平成24年10月4日

秋山小学校校長

明るい 強い 正しい

# 秋山っ子

## 10月をおかえました

台風17号の影響を心配しましたが、被害もなくほっとしています。

先日、中秋の満月がとてもきれいでした。御覧になりましたか？「でたでた月が まあるいまあるいままるい おぼんのような月が」と、つい、口ずさんでしまいました。月を見ながら、団子や里芋を食べていた子どもの頃を思い出しました。この日には、相撲大会も地区で行われていました。私は、体が小さくやせていたので、いつも負けてばかりでした。決して豊かとはいえない時代でしたが、楽しい毎日を過ごしていたような気がします。

### 10月の大きな行事

9日（火）北方小との交流学习

15日（月）グラウンドゴルフ大会

23日（火）オーランドデー

26日（金）陸上教室（5・6年）

よその学校の人や高齢者の方と交流します。自分の気持ちや考えをうまく伝える機会になってくれればと思っています。

朝晩涼しくなり体調をくずしやすくなってきました。児童の健康管理をよろしくお願いします。

## 運動会が終わってはや2週間

運動会当日は早朝より、たくさんの皆さんにお越しいただきました。白団の優勝で終わりましたが、赤団もとてもよくがんばってくれました。特に全校リレーではみんなの思いを一つにしてよく走ってくれたと思います。団長のD君、Tさん、御苦勞様でした。保護者の皆さんには、準備

から片付けまで、手伝ってくださりまして、本当にありがとうございました。特に早朝の運動場整備をしてくださりました皆様、ありがとうございました。一人でも多くの手があると違うものだと感じたところです。来年度以降、P戸数が減っていくことになります。どうか、これからもお力添えをよろしくお願いします。



## 困っている子ども

子どもは毎日登校して学校生活を送り、学力や社会性を身に付けています。でも、時々困っている子どもがいます。それは、文字を書くのが苦手だったり、順番を待つことが難しかったり、忘れっぽかったり、相手がいやがることを平気で言ってしまったり、特定の習慣や手順に強くこだわったりなどなど、子どもによって「困り」は違います。早目にその子の「困り」に気付き、対策を講じなければ、本人がますます困っていきます。困っている子どもは、どの学級にも平均6%はいるといわれますが、どの子にとっても学校は楽しいところでありたいと思っています。